



約2年ぶりに再開！ ～ 絵本の読み聞かせ ～



およそ2年ぶりに絵本の読み聞かせを再開しました。低・中・高に学年を分け、23日（木）の朝からほっこりする時間を過ごしました。今回お世話になったのは、学校運営協議会委員の山川様、二ノ文様、そしてボランティアの広瀬様の3人の方々でした。（今後はPTAでもメンバーを募られる予定です。ぜひ、よろしく願いいたします）子供たちは絵本の読み聞かせが大好きです。絵を見ながら真剣にお話に耳を傾け、想像の世界を膨らませていました。子供たちにはいろいろな方に見守られながら育ててほしいと思っておりますが、読み聞かせの時間もそのような貴重な機会です。この時間を大切にしていきたいと思っております。次の予定は7月14日（木）です。どんなお話だったかご家庭でも聞かれてみてくださいね。

（左は高学年、右は中学年の様子）



子どもボランティアガイド養成講座（第2回）

10日（金）の開講式を経て、24日（金）の6時間目に2回目の講座を実施しました。今回、3年生は「水について考えてみよう」というタイトルで、講師の上村様から授業を受けました。また、4年生は同じく講師の矢野様から「白川と馬場楠井手のお話」と題した授業を受けました。自然な水の流れは「川」ですが、人の手によって掘られた水路を「井手」と言うのだそうです。これは地域によって呼び方が異なり、大分では「井路（いろう）」、人吉では「溝（みぞ）」と呼ぶそうです。御存知の方も多いと思いますが、もともと白水台地には水路がなく、肥後の領主となった加藤清正が、この荒れた土地に水を引いて米を作り、領地を豊かにしようと考えて作ったものです。正確な記録が残っていないものの、1608年にできたのではないかとされているとのこと。江戸時代が始まってすぐのことですから、相当古い歴史があることが分かります。それ以降、人々は井手沿いに住り住く毎日井手を見ていると思うが、水は人間にとって本当に大切である」ということ。そう思うと、いつもの風景が違って見えるかもしれませんね。最後に子供たちが、質問や感想を述べる姿も見られ、とてもうれしく思いました。第3回目の講座は、9月に予定されています。矢野様、上村様、たいへんお世話になりました。

（左は4年生、右は3年生の写真です）



1年生の生活科 ～ インタビュー活動をしました ～

1年生は、生活科の授業で、先生方へのインタビュー活動を行いました。そのキラキラした様子を少しお伝えします。子どもたちは、首にインタビューシートを付けた記述用ボードを下げ、10人の先生に次々にインタビューしていきましました。部屋へ入るときの、「こんにちは。生活科の授業でインタビューに来ました。入ってもいいですか」というビシッとしたあいさつから活動は始まります。質問は、「私の名前は〇〇です。好きな～は☆☆です。先生の名前と好きな～を教えてください」という内容でした。1年生は総じて声が大きくお話しするのも上手で（お互いよく助け合ってもいました）、こちらも内容を理解しやすいところが大きなプラスポイント。インタビューが終わると、「サインお願いします。ありがとうございました。失礼します」という最後のことばを堂々と述べていきました。私が聞かれたのは、「好きなおやつは何ですか？」「好きな動物は何ですか？」「好きなYou Tubeは何ですか？」「好きな映画は何ですか？」「好きなフルーツは何ですか？」等々・・・このように、ことばをきちんと交わすことで、相手のことをしっかり理解できる

ようになります。この大切なスキルを日々磨いていければと感じた3日間でした。ぜひ、ご家庭でも「どんな質問をしたの？」など話題にされてみてくださいね。（写真：あらゆる場所で質問タイム

